

小中一貫教育実践校グループ
 光が丘第三中学校・光が丘夏の雲小学校・光が丘秋の陽小学校・光が丘第八小学校

中学校区の特徴

- ・新たに編成された校区で新たな伝統を作る地域
- ・基本的な生活習慣と学習習慣を大切にす地域
- ・学びに対する期待の高い地域

目指す15歳の姿

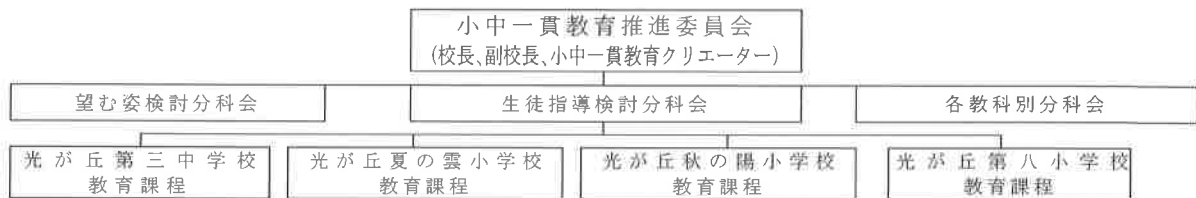
- ・基礎、基本の学習を身に付け自ら考え実行する生徒
- ・自他ともに理解し規範意識をもって行動しようとする生徒
- ・心と身体を鍛え将来への夢や希望をもつ生徒

1 目指す15歳の姿の具現化に向けた取組

昨年度「目指す12歳の姿」および「目指す15歳の姿」を以下のように定めた。今年度はそれをもとに、具体的な姿を実現するための取り組みを各校で模索する一年となった。教科別に分科会を組織し、取り組みの共有を行った。校区間の分科会ごとに共通理解を図ることで、目指す姿の実現に向けた取り組みを更に深めていきたい。

「知」の輝き	目指す12歳の姿
	未知の事柄や人の話に関心を持ち自分の考えを広げる子
	目指す15歳の姿
	基礎・基本の学習を身に付け、自ら考え実行する生徒
「徳」の輝き	目指す12歳の姿
	互いに認め合い、友だちと協力して活動できる子
	目指す15歳の姿
	自他ともに理解し、規範意識をもって行動しようとする生徒
「体」の輝き	目指す12歳の姿
	すすんで運動したり、目標に向かって頑張る子
	目指す15歳の姿
	心と身体を鍛え、将来への夢や希望をもつ生徒

2 組織および実践計画



実践計画	
6 / 1 7	第1回校區別協議会 光が丘第三中学校 リモートによる全体会と各分科会 ・ICT機器の活用についてなど
夏季	各分科会別にリモート開催
1 1 / 8	第2回校區別協議会 光が丘秋の陽小学校
2 / 4	第3回校區別協議会 光が丘夏の雲小学校

光が丘第三中学校
光が丘夏の雲小学校・光が丘秋の陽小学校・光が丘第八小学校
グループの特色ある取組

「令和3年度の重点取組」

【重点取組1】 「目指す15歳の姿」の実現に向けた取組の実践または研究

教科別分科会に分かれ、分科会ごとに実践の共有を図った。

国語	目指す15歳の姿の実現を、「話す・聞く」の授業実践に焦点を絞り各校での取り組みを共有した。特に、「話を聞きながらのメモの取り方」については小学校・中学校どちらでも指導は難しく、ワークシートなどの有効な使い方の模索が必要であることが分かった。
社会	ICT機器の活用。児童の意見や考えを集約する時にジャムボードやスライドを使う。授業のまとめや単元のまとめをノートで行うか、タブレットで行うかを検討していく。
算数 数学	板書計画がノートの書き方とリンクするように小中で工夫することが大切である。「自分の考え」を書く指導は小中共に積み重ねが大切である。
理科	スプレッドシートやデジタル教科書、視聴覚教材の活用を小中で共通して行っていく。ムーブノートなどのICTを用いて実験結果や考察を共有していきたい。
音楽	小学校と中学校の共通の教材についてや連合音楽鑑賞教室について情報交換をし、小学校での学習が中学校の学習に生きていることが分かり、今後連携して指導可能な事項が見えた。
図美 技家	授業におけるICT機器の工夫した活用法。「Viscuit」「Scratch」の利用例を共有。小学校と中学校で使用するデバイスの仕様の違いについての対策を考える。
保体	他校とGoogle Meetで繋ぐことで、学校対抗で短縄大会を開催することができた。ICT機器の活用としては、児童生徒の運動の様子を撮影時、自身の変容を視覚的に捉えられるようにする。
英語	小学校と中学校の教科書において共通の題材を扱う単元を有効活用する。「小学生に伝えるために」といった場面設定を考え、ICTを活用して実践することが可能である。
道徳	授業におけるICT機器の工夫した活用法。道徳の授業で、自分のこととして考えられるような授業の進め方、発問について考える。

【重点取組2】

いじめ防止や不登校の解消など豊かな心の育成に向けた取組の実践または研究

不登校児童・生徒を生まない未然防止実施例と対応について、効果的であった方法を共有した。児童・生徒の細かな変化や困り感を感じ取るために、登校時や休み時間の様子を観察していくことや教員間の情報共有を綿密に行っていくことで、迅速で手厚い対応ができる。小学校で不登校であった児童は中学校でも不登校になる傾向にあるため、引き継ぎでは実態や効果があった対応等の児童の情報と家庭状況や保護者の思い等も報告し、小中の連携を図っていく。

「令和3年度の成果と今後の方向性」

今年度はコロナ禍においてできることを模索する一年となった。直接児童・生徒の交流は難しかったが、タブレットの利活用により話し合い活動や異学年交流を図ることができた。「目指す15歳の姿の実現」に向けて、小学校、中学校それぞれの最上級生が下級生のお手本になれるような取り組みの実践共有ができたことが成果となった。その結果、「主体性を高めるための取り組み」や「認め合いを促す取り組み」を各校で共有することができた。今後の課題としては、具体的に小中学校間でどのような実践を関連付けていけるかが課題となる。